

パソコンなどの再生装置が不要？ シャープの新製品がアパレル店舗を変える 人にやさしい簡単運用・簡単操作 自由な設置で売り場をスタイリッシュに

業務用ディスプレイでトップクラスのシェアを誇り、特に大型ディスプレイに強みを見せるシャープが、低価格で操作が簡単、設置の自由度が高い新製品を今秋から発売する。コントローラー内蔵ディスプレイ「PN・B」シリーズだ。この新製品の発売に合わせて、コンテンツ配信システム「e-Signage」も操作性を大幅に高めた新バージョンが登場する。新製品は、主なターゲットとなる流通・小売・飲食業界の中でも、アパレル・ファッション分野でのニーズに応えるものとみており、新規・増設・入れ替えとも、多くの顧客獲得を狙う。



※AndroidはGoogle Inc.の商標です。Android ロボットは、Google が作成および提供している作品から複製または変更したものであり、Creative Commons 3.0 Attribution ライセンスに記載された条件に従って使用しています。

初期導入コストを抑えた簡単運用のコントローラー内蔵ディスプレイを今秋発売 コンテンツ配信システムもバージョンアップ 設置コストを削減・運用を省力化し、売り場を元気にするサイネージ

新製品のコントローラー内蔵ディスプレイ「PN・B」シリーズは、コントローラーを内蔵しながら価格を抑えたポリウムゾーンの製品。新規導入や多店舗導入を容易にした。コントローラー内蔵、つまり別途パソコンなどの再生装置が不要となることで、ハードウェアの購入だけでなく、システムの設置・配線を導入コスト全体を抑えることもつながら、しかもコストダウンだけでなく、導入から運用まで使い勝手の良さも大きな特長だ。新製品の狙いを、ビジュアルソリューション事業部商品企画部の薄桃子さんに聞く。



シャープ株式会社ビジネスソリューション事業本部
ビジュアルソリューション事業部商品企画部
モモコ 薄 桃子さん

ハード・ソフト、店舗設計から設置、運用までトータルでデジタルサイネージソリューションを提供するシャープの中で、商品企画部の仕事は、市場調査や営業部門からのフィードバックに基づき、製品スペックを定め、その市場性を検討し、これに基づいた商品の企画を行います。これらに基づき、開発部門に伝えて製品の開発を行い、営業部門と連携して市場への導入を図ります。

アパレル専門店、特にレディースはデジタルサイネージが導入されている店舗が多く、自分が担当した製品が、ショップで使われているのを見つけたら、うれしくなります。入社以来、デジタルサイネージ関連製品の担当なので、ショップに行くたびにディスプレイの裏側の銘板を見て、メーカーを確認するという習慣がついていました。

— 新モデルの企画の狙い・背景は —
デジタルサイネージの潜在市場として、流通・小売・飲食は店舗の数が多く、その数は全世界で約5100万台と見込まれています。しかし流通・小売・飲食での普及率は約10%です。残り約90%の、大きな潜在需要がある流通・小売・飲食業界がコントローラー内蔵ディスプレイの重点ターゲットです。

— 新モデルの特長は —
新モデルは、価格を抑えたポリウムゾーンの製品でもあり、シャープが企画し薄海精密工業株式会社と協業し開発・生産したモデルです。今後ワールドワイドで販売します。量産効果によって価格もさらに抑えられます。e-Signageの新バージョン「e-Signage S」は、この新モデルの発売に合わせてリリースされます。従来のバージョンからさらに操作性を高め、より簡単な操作・運用が可能です。

— 新モデルの特長は —
まず、コントローラー内蔵ディスプレイ「SOC」(System on a Chip)モデルであること。スマートフォンのように、ワンタッチでコンピュータを内蔵しコントローラーとして必要な機能を搭載しています。SOCは日本ではあまり知られていませんが、新モデルを「SOCモデル」として訴求し、ゆくゆくは「シャープ」といえば「SOC」といわれるようにしていきたいと考えています。

SOCモデルはコンテンツの再生に必要なコントローラー機能を内蔵していますから、通常必要なセットアップボックスは不要です。その分、初期コストを約20%程度削減できると考えています。セットアップボックスの置き場に

困ることなく見栄えもよ、配線も簡単で済み、設置の自由度が高いことも大きな特長の一つです。また筐体の構造を強化したことで、前後90度傾けられ、ワイヤー吊りや水平向き・下向きといった自由な設置が可能です。

OSはAndroid 4.4を採用。Google Inc.の「CCTS認証」も取得予定です。アプリケーションソフトとして、e-Signage S プレーヤーA1、現在のe-Signageのビューア版、静止画・動画コンテンツを表示するメディアプレーヤー、ウェブ上のコンテンツを表示するHTML5ブラウザなどを搭載します。

Android対応の周辺機器やアプリも利用できます。開発環境が整ったAndroidです。お客さまや、サードパーティでオリジナルのアプリを開発いただくことも可能です。導入前から運用まで、ハード・ソフトともに「ワンストップサポート」を提供するのは、新製品でも同じです。

— 新バージョンとなる「e-Signage S」は —
現行バージョンの「e-Signage」は、直観的なユーザーインターフェースにより、操作が簡単で使いやすい点を評価いただいておりますが、今回は発売以來の大きなバージョンアップで、さらにユーザーインターフェースを改善し、操作性の向上を目指しました。例えば、配信スケジュールは、カレンダースケジューリングとタイムスケジュールを一体管理できるようになります。また、各店舗への配信を一括管理して、各店舗の要望に応じて異なるコンテンツを配信するのにも対応できるようになりました。しかしフル



インタビューに応える薄桃子さんと設置されたPN-B501

ダ連携機能を使えば、本部から配信されるコンテンツや、各店舗が放映したいコンテンツを組み合わせて配信することが容易に行えるようになります。具体的には各店舗では、店舗用に準備されたフォルダに、放映したいコンテンツをドラッグ＆ドロップするだけです。

「e-Signage S」を使用することで、ディスプレイ1台から多店舗の一括配信サイネージまでを、これまで以上に簡単に効率的に運用することができると期待しています。

— アパレル・ファッション店舗には、セットで提案する —
SOCモデルと「e-Signage S」をセットで提案が軸になります。コントローラー内蔵で、店舗での操作が最小限。店舗に負担をかけずに、サイネージ導入によるコスト削減が見込めます。一方、店舗の立地や環境に合わせたコンテンツを利用される場合も、これらも簡単に実現できます。既にサイネージを導入いただいたユーザー企業様の中でも、現場の方が「こんな映像を流したい」と主張される企業ほど、導入の効果は大きくなる傾向があります。店舗スタッフが、自らの操作でコンテンツを追加し、サイネージがお客様とのコミュニケーションツールとなったら、スタッフのモチベーションアップの効果も見込めます。

ファッション・アパレル分野では、多くの企業でサイネージの導入が進んでいます。これからのデジタルサイネージには、店舗やブランドの個性を出していきたいという提案をしていきたいと思えます。PN・Bシリーズや「e-Signage S」で、コンテンツの展開や活用を幅を広げるアパレル店舗やブランドを支援できるとうれしく思います。

新商品レポート ～シャープからファッション・アパレル関連企業様へのご提案～

コントローラー内蔵ディスプレイ「PN・B」シリーズ

- 特長① コントローラー機能を内蔵**
OSに汎用性が高いAndroid™ 4.4を採用
パソコンレスでサイネージ運用
- 特長② 多彩なアプリを搭載・提供**
搭載Androidアプリにより、多彩なサイネージに対応
・ e-Signage S プレーヤー A1 (本格サイネージ)
・ メディアプレーヤー (静止画/動画コンテンツ)
・ HTML5ブラウザ (WEBコンテンツ)
- 特長③ 拡張ボードで機能追加が可能**
3つの拡張ボード(別売)を装着することで機能を拡張
- 特長④ フレキシブルな設置が可能**
水平上/下向き設置も可能
ワイヤー吊り設置にも対応(吊り下げ金具(別売)必要)



インフォメーションディスプレイ PN-B501
テーブルトップ設置にも向きやすかったデザイン
周りに商品も置いて親和性が高い



インフォメーションディスプレイ PN-B401/501
お客様のニーズに応じたフレキシブルな設置が可能で、空間演出の幅が広がる
前後に90度傾斜でき、水平上向き・下向き設置もできる



インフォメーションディスプレイ PN-B401
スタンドアロン運用での設置イメージ
パートナー企業が設置器具も開発

デジタルサイネージソフトウェア「e-Signage S」

- フォルダ連携機能と定期配信機能を加えて、運用がより簡単に
- デジタルサイネージの作成・配信・運用がマウス操作で可能
- 配信台数やオペレーターの数など用途に応じた多彩なラインアップ

Pro版・ネットワーク版・スタンドアロン版・プレーヤー
2017年11月上旬発売
WEBサーバー版
2017年12月中旬発売



操作画面イメージ e-Signage S WEBサーバー版

e-Signage S システム

